

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」 実施報告書

※整理番号：

企画名	江田島まちおこしリノベーションプロジェクト
実施日	令和 7年 2月 1日 (土) ~ 令和 7年 2月 2日 (日)
実施場所	広島県江田島市大柿町大原 1159-5
企画代表者の氏名, 所属	氏名：宮崎 彩乃 所属：工学部第四類建築プログラム
構成員の氏名	釜谷咲木乃、長野竜大、濱野喜史、佐藤峰里、高山尚也、宮崎彩乃、吉村和真、 景山桜、原清流、入船幸福、新開道哉、園元陸夢、田中仁望、平岡快彪、藤本桃羽、 光永悠夏
指導的立場の教員氏名	※報告内容をご確認の上、ご署名または記名・押印をお願いします。
	角 倉 英 明
企画の目的及び内容	<p>■企画の目的及び期待される効果</p> <p>本企画は、広島県江田島市大柿町にある空き家（元店舗兼住宅）を対象としたリノベーションプロジェクトである。広島大学公認サークル「空き家リノベーションサークルDIYAH」に所属する学生が主体となり、建物の改修計画の立案、必要材料の選定、施工、改修後の活用方法の提案を行った。</p> <p>工学部の学生にとって、専門業者と協力しながら実際のプロジェクトを遂行することは、大学の講義では得られない貴重な実践経験となった。本年度工学部に入学した学生にとっても、専門科目の講義を受講する前に本プロジェクトに関わることで、今後の学習への意識向上が期待された。</p> <p>また、本企画は教員や専門業者に加え、地域住民と連携して実施され、建築プロジェクトを通じた地域活性化の一環としても機能した。広島大学の学生以外の参加も受け入れ、江田島市との関係人口の増加を目指した。さらに、改修後は地域住民が利用できる施設として運用する予定であり、プロジェクト終了後も広島大学の学生と地域住民のつながりを継続的に生み出すことが期待される。</p> <p>■企画の具体的な内容</p> <p>本プロジェクトは、今後数年間かけて進行する計画である。本年度は、建物の現状調査、プロジェクト全体の企画・立案を行い、改修作業に着手した。主に 2 階の改修を中心に、1 階の一部改修も並行して実施した。具体的な取り組み内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 構造補強が必要な箇所の検討 ② 改修方針の検討 ③ 改修計画の立案 ④ 改修方法の検討（施工方法の検討、材料の選定、工程の計画など） ⑤ 改修の実施（地域住民を交えたワークショップを含む） <p>①については、専門業者の協力を得て実施済みである。2 階部分については②～④を完了し、本年度は⑤の改修作業を行った。1 階部分については②～④を進めた。3 階については本年度は手をつけず、次年度以降の課題とする。基本的に学生が主体となって作業を行ったが、高度な専門知識を要する構造計算や施工に関しては、教員や専門業者の指導のもと実施した。また、資格が必要な施工については、適宜専門業者へ外注した。</p> <p>②改修方針の検討、③改修計画の立案、④改修方法の検討については、学生主体で行うとともに、フィールドワークや周辺住民とのワークショップを通じて決定した。</p>

来場者数

近隣の方 5 名

主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）

空き家リノベーションサークル DIYAH（広島大学文化サークル団体連合所属）

活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）

■準備

- ・現地調査を実施し、当日の作業内容を難易度や面白さなどを考慮し、壁・床の改修に決定。
- ・当日作業箇所以外に関しては、団体所属学生で年間を通して継続的に実施。
具体的には間仕切り壁や水まわりの施工などを行った。

■広報活動

ワークショップを周知するため、SNS（Instagram）を活用。近隣住民への声掛けも実施。

■当日の様子

(1) 作業開始

作業内容の説明と安全確認を実施。

(2) 壁紙の張替え、塗装

既存の壁紙の状態を確認し、状態の良いものは塗装、悪いものは撤去。

状態の良いものについては、下地処理をし、ペイント塗装。

撤去した部分は壁面の汚れを落とし、下地処理（凹凸の補修）を実施後、クロス張替え。



(3) 2階の床の修繕作業

床の状態を確認し、傷んだ板材を撤去。

水平を取り直し、根太の追加後、新しい構造用合板を張った。

その後、クッションフロアを貼った。



(4) 地域住民との交流

ワークショップの休憩時間に地域住民と意見交換を実施。

今後の改修計画や建物の活用方法についてフィードバックを得た。

(5) 最終確認と片付け

壁紙と床の仕上がりをチェックし、必要な補修（ジョイントコークなど）を実施。

（裏面に続く）

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

成果・課題

■成果

1、学生の実践的な学習機会の創出

- ・ 実際のリノベーションプロジェクトを通じて、学生が建築や施工に関する実践的なスキルを習得できた。
- ・ 専門業者や教員と協力することで、実務に即した知識を学ぶ機会となった。
- ・ 計画立案から施工までの一連のプロセスを経験することで、プロジェクトマネジメントのスキルが向上した。

2、地域との連携強化

- ・ 地域住民と協力しながら進めることで、空き家活用に対する地域の関心を高めることができた。
- ・ ワークショップの開催により、地元の人々と学生の交流の場が生まれ、継続的な関係づくりにつながった。

3、空き家の有効活用

- ・ 2階の改修が進捗し、利用できる空間が整備された。
- ・ 1階の一部改修にも着手し、今後の活用に向けた具体的な基盤を整えた。

■課題

1、施工の質の向上

- ・ 施工の質を確保するための研修などを実施し、知識と技術を身に付けていく必要がある。
- ・ 仕上げ用の細釘などを打ち込むための道具を新たに用意する必要がある。

2、資金調達の継続性

- ・ 建物全体の改修を完了させるには、今後も道具費や材料費などの資金が必要となるため、助成金やクラウドファンディングなどの資金調達方法を検討する必要がある。

3、地域住民との連携強化

- ・ 地域のニーズと改修計画をより密接に結びつけるため、定期的な意見交換の場を設ける必要がある。
- ・ 空き家の改修後の運用について、住民が主体的に関わる仕組みを作ることで、継続的な活用を促進する必要がある。

実施風景 (写真)



【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。

E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学系総括支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)